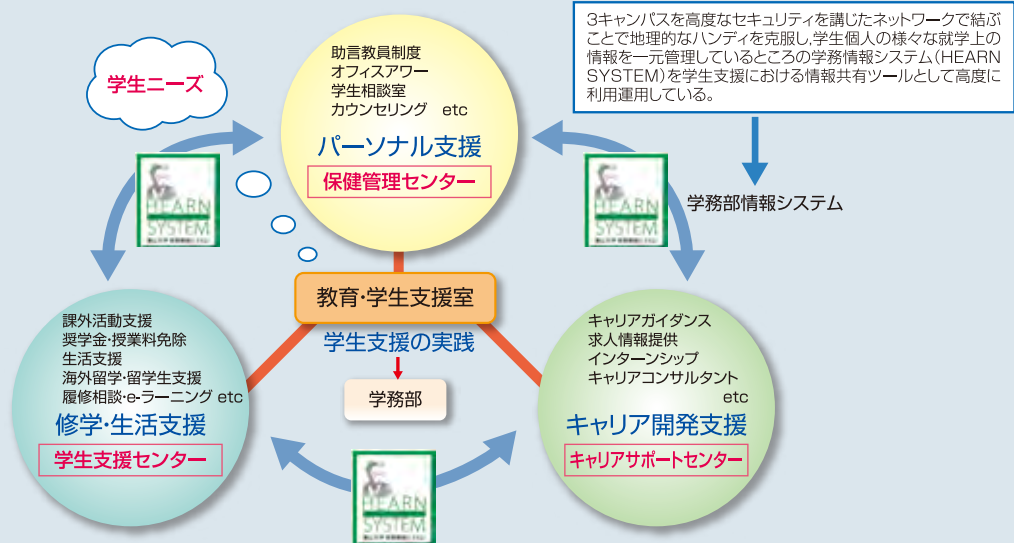


富山大学における学生支援の総合的な取組体制



増えるコミュニケーションができない若者達

- 友人関係を求めず、サークル活動やアルバイトからも退却し、一人で楽しむことに没頭する
- ゼミや授業での討論で、追求されたり反論されたりすると気分が落ち込み、立ち直るのに時間がかかる
- 教員との一対一の関係を持たず、持ったとしても深まることがない

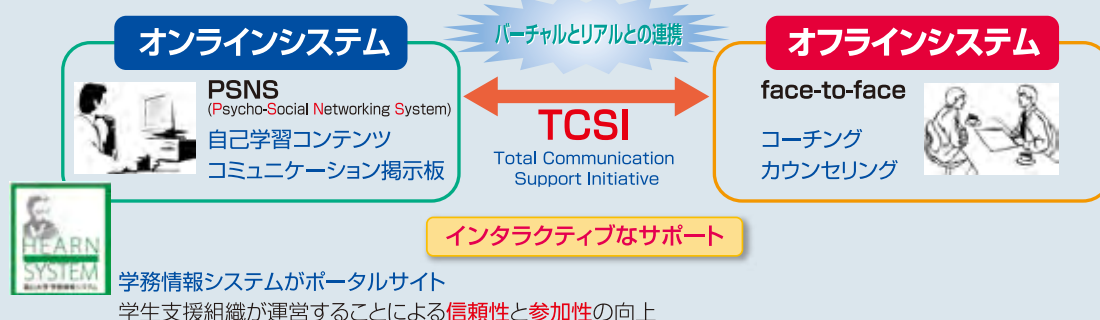
→ 発達障害学生の人間像と重なる

高機能発達障害学生の特徴

- 知的発達の遅れを伴わない
- 他人との社会的関係の形成が困難
- 興味や関心が特定のものに限られる
- 状況や相手の気持ちを汲むことが苦手
- 被害感・怒りを持ち続けがち
- 特定の卓越した能力を持っている場合が多い

→ 彼らの能力は大学・社会の財産!

Total Communication Support Project (TCSI)



→ 学生の特性を「矯正」するのではなく、多元的環境へのアクセスを援助し、彼らの「ユニークさ」を生かす!

「オフ」と「オン」の調和

- 発達障害学生は、オンラインシステムへのアクセスには、さほど困難を感じない
- オンラインサポートでの交流を基盤に、オフラインイベントを随時開催し、社会的交流の場を提供する
- オフラインサポート(カウンセリング、コーチング、キャリア支援など)へのアクセスを促進するとともに、学生自身によるピアサポートへとつなげていく



オンラインシステム

心理・社会的ネットワーキングシステム (psycho-social net working system:PSNS)

ホーム マイページ 日記 メッセージ 通知と 初期入り マイレビュー マイページ編集 プロフィール編集



学務情報システムがポータルサイト

初期招待者は、
助言教員

e-learning コンテンツ

学生相互による
支援の輪が形成

●実践的なノウハウなどをテーマ
コミュニケーション・スキル、ソーシャル・スキル、自己理解
の増進、卒業研究など

個人メッセージ機能

●種々の個別相談
学業、就職、心理など 専門家が応じる

富山大学PSNS (Psycho-Social Networking System) イメージ

1. ログイン画面



新規登録方法

利用者は、富山大学から発行されるID、パスワードを
入力することで新規登録を行います。

ユーザ登録画面が表示され、

- ①ユーザID
- ②メールアドレス
- ③パスワード

④免責(内容をよく読み、同意の上、チェックを
入力後、送信ボタンをクリックし登録が完了し
ます。

2. SNSの概要



【主な機能】

- ・プロフィール登録・変更
- ・メッセージ送受信
- ・フレンド登録
- ・あしあと
- ・日記(ブログ)、コメント
- ・カレンダー
- ・お気に入り
- ・コミュニティ作成(教職員のみ)
- ・最近の日記レビュー
- ・コミュニティ参加・退会
- ・掲示板・ピックアップ作成
- ・掲示板管理者のみ)
- ・掲示板への書き込み
- ・イベント登録・削除
- ・(コミュニティ管理者のみ)
- ・イベント参加・コメント
- ・フレンドリスト
- ・コミュニティリスト
- ・マイページ
- ・最新情報
- ・メンバー検索
- ・メールマガジン配信
- ・リバー登録
- ・Eラーニングコンテンツ掲載

3. マイホーム



4. 携帯機能



オフラインシステム

トータルコミュニケーション支援室(TCSI)の設置

専門教職員を配属し、保健管理センターと
連携して、サポートのコアとなる組織

- ① 全学教職員理解向上のためのFDの開催
- ② サポートチームの形成とコーディネート
- ③ 学生によるピアサポートへの支援
- ④ 専門家による個人的カウンセリング・コーチングの実施

発達障害学生への心理教育的援助：1

☹ どうしよう! とりあえず支援室へ!

1. 本人の必要性に応じ臨機応変に対応
2. 疲労を回復させる居場所の提供
3. 「困り感」への即時対応→早期解消

学生の安全を保障する空間(容器)として機能する

発達障害学生への心理教育的援助：2

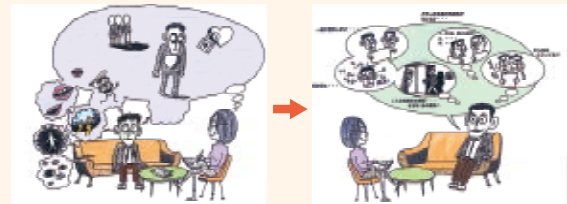
😊 なるほど、そういうことなんだ..

1. 本人の語りを聞き、二者間で本人の視点と共有する
2. マイナス体験としての語りをプラス評価にリフレーミングして
言語化する
3. 本人の体験を敷き直しすることでメタ認知を育てる
4. 社会的な関係や出来事に関する通訳をする
5. 体験的な実感と客観的な視点を行き来しながら、認知の変容
を図り、二者間で確認し合う

発達障害学生への心理教育的援助：3

😊 これが私...なかなかいいじゃない!

1. 趣味やこだわりの世界を共有して語りの場を作り、心地よい
コミュニケーションを体験する
2. 援助を受けながら、そこそこやっていると自分を、良い
イメージで捉えることができるような肯定感を持つ
3. 自分の特性を考慮に入れた職業選択をする



TCSプロジェクトの効果

●学生本人にとっての効果

キャンパスライフにおける「生きにくさ」に対する包括的な支援

●教職員を含む大学にとっての効果

学生支援に関する知識の提供と個別コンサルテーション、サポートチームによる協働(支援者への支援)

●社会にとっての効果

卒業後のフォローアップ支援による、早期離職や問題行動の防止

連絡先

富山大学 学生支援センター トータルコミュニケーション支援室
〒930-8555 富山市五福3190 TEL 076-445-6914 FAX 076-445-6911 E-mail gakusei@u-toyama.ac.jp